

八碁連だより

令和6年11月号
第397号



不断院（式分方町）

発行日 令和6年11月1日(金)

発行所 八王子囲碁連盟

住所 八王子市長房町 506-13

電話 042-667-1500

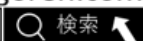
発行者 澤田 信夫

編集者 荒畑 昭一



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟



八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

巻頭言

山形



台町囲碁同好会会長 菅井 勝男

私が題材に選んだ【山形】は、芭蕉で有名な山寺、蔵王、銀山温泉等、風光明媚な山と温泉、寺院で知られる美しい自然に恵まれた地域です。この辺りをまだ現役のころ、たびたび時間をかけては訪れていて、第2の故郷の思いがあります。

自分の退役の頃には、時間の余裕も増え、この時間をもったいないな一と考えるようになり、人生訓にもなる、単行本でも読んでみようかと思いました。手にした本が【藤沢周平】の三屋清左衛門残日録でした。

この藤沢周平の作品には、山形庄内藩（酒井忠次）の城下町として鶴岡（市）が登場するが、小説では庄内藩は、海坂藩と名前を変えていました。

庄内藩は、北西に鳥海山、南東に月山、真ん中に米どころ最上川、その中心が城主のいた鶴岡、その南側が藤沢周平が6男として生まれた金峰山があります。

この人の小説はこの海坂藩で起こった事件（陰謀等）の内容で、隠し剣孤影抄、三屋清左衛門残日禄、蟬しぐれ、義民が駆ける、たそがれ清兵衛などがあります。そして、これら小説の中で事件を解決して行きました。

小説の中で良くでてくるのが、藤沢周平の酒場の話です。周平（本人）は、よく酒場で飲み、庄内藩の酒造メーカーは18軒あるとされる中、操業3百年、料理の邪魔をしないとされた原料が、幻の米、精米度合い55%の亀ノ尾です。小説を読むと意外と酒飲むシーンが多いことに気づきました。

明治になって、各地の藩主は東京に移り住みましたが、酒井家は鶴岡を離れることはなく、長い間領民に好かれたと言うことです。

私がこの藤沢周平の本を買ったのには、もう一つ理由がありました。この本には、興味ある歴史の他に地元の作家として、郷土料理に詳しい事が描かれているからです。とは言え、私は友人とお店で飲む時、私からつまみをほとんど頼みません。何がおいしいのか、また、食べたいものの名前が言えない、また頼んでも多くを食べないからです。

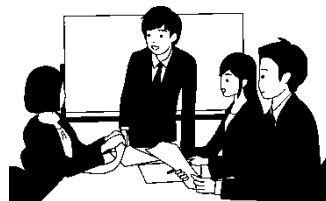
小説の中の鶴岡の小料理屋のときは、つまみは女将が選んでもってくる、そのほとんどが、赤カブ、ハタハタの湯上げ、細口カレイ、醤油の実、菊の酢の物、ゴマ豆腐の餡掛け、寒鰯のどんがら汁といったものです。これらの料理を海坂膳と言うらしいが、もったいなくも、飲む方と話が夢中になってしまうタイプなのでしょうか。又の機会にゆっくりと語らいながら、味わい、食べたいと思っています。

庄内藩では当時、一番うまいのは庄内コシヒカリと、誇りを持っていたと言います。藤沢周平が各種小説で、自分が、子供のころ食べた地元の食べ物を紹介したところ、海坂膳は有名になったという話があります。



羽黒山五重塔（国宝・鶴岡市）

理事会議事録(抄)



令和6年度 第6回理事会 議事録

日時：令和6年9月28日(土曜日) 9時から12時

場所：東浅川保健福祉センター

出席者：澤田会長・浅川(議事録作成)・木村・荒畑・棚原・小西各理事

会長報告

- ・9月6日：日本棋院本部(市ヶ谷)へ行き、八碁連大会とタイトル戦の賞状に棋院の印鑑を受領した。
- ・9月8日：初心者教室の指導員に長房同好会の赤松栄一郎氏を推薦して本人の了解を得た。
- ・9月12日：文化連盟事務局から市民囲碁大会の参加費の明確化のため、領収書の発行について要請があり、協議の結果、八碁連の会員分は地区同好会長宛にまとめて領収書を発行し、一般参加者からは一覧表に名前だけ記入する用紙をつくり、サインをもらうこととなった。
- ・9月15日：級位認定大会に参加し会長挨拶を行う。
- ・9月18日：第74回八王子市民文化祭囲碁大会の件で、立て看板の準備は文化連盟と宮崎理事が準備することを確認した。
- ・9月21日：研修部大会に参加し会長挨拶を行う。

各理事報告

- ・第2回八碁連HPプロジェクト会議を9月28日午後1時から開催、12月21日会長会議までに一定の方向について結論を得ることを確認した。次回第3回会議を10月26日に開催する。
- ・第6回多摩地区市町対抗団体戦の詳細結果が、事務局より送信されて来たので、各同好会会長にお礼を兼ねて送信した。
- ・第8回級位認定大会のクラス別参加者名簿・対局票を作成した。
- ・八碁連会員の見直しを東浅川保健福祉センターから求められ、各同好会にその旨通知した。

- ・傘寿表彰者の記念品は購入済みである。
- ・八碁連だより 11月号の予定記事は、巻頭言・第34回八碁連三段以上大会（10／6）と二段以下大会（10／20）の結果・研修部大会の結果、12月の会長会議の案内、11月3日開催の第74回八王子市民文化祭囲碁大会の案内等を掲載予定。
- ・第34回八碁連大会の三段以上の大会は42名の参加申し込みが有り、A・Bの2クラスに分けて八碁連方式で実施する。
- ・8月21日八王子市民文化祭実行委員会に参加した。設営用品費として負担金を受領、また実績報告書の書き方の指導を受ける。
- ・12月21日午前9：00～11：45理事会の開催（東浅川保健福祉センター4F第2会議室）、午後12：30～14：45（同第4会議室）会長会議の場所を予約済み。

議案討議事項

- ① 業務委嘱者への謝礼について、第5回理事会で大筋を決めたが、対象者について研修部は、研修部で支出しているとの事で、研修部8名を除くことにした。

謝礼は年1回とする。

- ② 八碁連三段以上大会と、同二段以下大会の役割分担を決めた（別紙あり）。
- ③ 第74回八王子市民文化祭囲碁大会の役割分担の大枠を検討すると共に（別紙あり）、大会はスイス方式で開催するために、南大沢同好会の武中会長に指導を依頼する。

また、囲碁用具の手配（恩方の持ち回り分の使用）や八王子文化連盟理事、宮崎氏への協力依頼、八碁連の理事だけでは対応出来ない為、各同好会会長に支援要請をするなどの協議を行った。

- ④ ホームページ検討会について

9月28日（土）14：00第2回プロジェクトを開催。（東浅川保健福祉センター）

- 1) 現状、課題、今後の検討方向を協議、「新規会員獲得」のためのHPの内容等について意見交換した。
- 2) 次回は、現HPの内容を逐一再確認し必要可否の見直しを行う。

次回理事会は 10月26日（土曜日） 9：00～12：00

場所 東浅川保健福祉センター

お知らせ

★第34回八碁連三段以上大会の結果

開催日 令和6年10月6日(日)

会場 東浅川保健福祉センター4階

大会成績

Aクラス 優勝 三島 敏明(浅川/七段)
(22名) 準優勝 井上栄次郎(中野/七段)
3位 宮崎 誠一(中野/六段A)

Bクラス 優勝 棚原 英治(元八王子/六段B)
(20名) 準優勝 佐々木胖充(大和田/四段A)
3位 高橋 靖夫(恩方/四段)



大会会場風景

★令和6年度研修部囲碁大会結果

令和6年9月21日(土)

会場 東浅川保健福祉センター

参加者数(同好会別内訳)

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	長房	南大沢	計
6	16	5	0	3	1	1	2	3	37

Aクラス(初段~五段)(人員 23名)

優勝: 矢作 忠孝(大和田/五段→五段A)

準優勝: 木村 勇(南大沢/二段)

3位: 浮邊 廣行(南大沢/四段A)

Bクラス(5級~1級)(人員 14名)

優勝: 原 健(長房/2級→1級)

準優勝: 瀬沼 久江(恩方/3級)

3位: 佐藤 正宏(元八王子/1級)

★令和6年度傘寿表彰について

八碁連囲碁大会の開催日・10月6日（日）（三段以上）と同日に、傘寿表彰が行われました。（今回対象者は三段以上の方）
記念品は、例年通り囲碁格言入り湯呑み茶わんでした。



傘寿表彰中・・・

★新規会員獲得のための取り組みについて

各地区同好会おかれては、日頃より新規会員獲得のために、種々取り組みをされていることと思います。

八碁連では、これらの取り組みに、経費面より少しでも応援させて頂くために費用の一部を助成することに致しました。（令和5年度総会で決定）

本件は、未だ十分利用、周知がされていないように見受けられますので、再度本誌に掲載し、各同好会の積極的なご活用をお願いする次第です。

1. 取り組み内容

（本部）

- (1) 八王子市広報への会員募集の掲載
- (2) 八王子市内の各市民センター等への会員募集のポスター掲載、チラシ配備
- (3) 市民文化祭囲碁大会、初心者教室等での会員募集チラシの配布
- (4) その他新規会員獲得のための取り組み

（地区同好会）

- (1) 地元住民に対する囲碁教室の開催及び勧誘
- (2) 地元市民センター祭り等での囲碁大会、囲碁コーナー等の開設及び勧誘
- (3) その他新規会員獲得のための取り組み

2. 助成経費

- (1) 印刷経費
- (2) 会場費
- (3) 教材費（書籍、囲碁用具等）
- (4) その他必要と認められる経費

3. 申請手順

- (1) 実施前に地区同好会長から八碁連会長へ取り組みの概要（期間、内容、概算経費、申請助成額）を申請する。
- (2) 申請内容を直近の理事会で審議し、決定し、地区同好会長へ連絡する。
- (3) 支払いは、取り組み実施後速やかに支払う。

4. 予算枠 10万円

本部：1万円以内

地区同好会：1同好会当たり1万円以内、総額9万円以内

★会長会議の開催連絡

日時 12月21日（土） 12時30分～14時45分

場所 東浅川保健福祉センター 第4会議室

（尚、当日は午前9時～12時まで理事会が開催されています。第2会議室）

日本棋院八碁連支部コーナー

常任幹事 南 正一郎

★熊丰七段の指導碁が終了

10月6日、八碁連大会(三段以上)と同時開催で、第19回指導碁を実施しました。

参加して頂いた皆様、大会を終えて急遽加わって頂いた皆様にお礼申し上げます。恩方同好会より参加の4名の方々のそれぞれに棋譜を取り合う場面も見られました。



熊丰七段の指導碁

熊丰七段の丁寧で迫力のある局後解説は何時ものことながら、局中で1,2回、重要な局面で選択肢を与える手法は目新しく、皆さん大変参考になり、満足されたと思います。以下、参加者を記します。(敬称略)

第1R 佐藤 昭（長房） 原田 朋栄（大和田） 南 正一郎（浅川）

第2R 藤牧 健二（長房） 吾妻 富子（恩方） 多田 康子（恩方）

第3R 岡本 秀俊（恩方） 服部 秀子（恩方） 田中 哲郎（浅川）

藤森 力（恩方）

★入門初心者教室日程（東浅川保健福祉センター 3F）

11月：11月9日（土）、11月16日（土）、11月23日（土）

12月：12月14日（土）、12月21日（土）、12月28日（土）

★訃報のお知らせ

浅川同好会に所属しておられた真田誠次氏が9月21日に
ご逝去されました。享年91歳。同氏は、八碁連創成期に、
初代会長 熊崎正一氏と共に創立メンバーとして活躍し、

平成15年度には、八碁連会長を務め、その後も初心者教室
の指導員を永年務めるなど多大な貢献をされました。

衷心より哀悼の意を表します。 合掌 八碁連会長 澤田信夫



【編集後記】

表紙の不断院というお寺、陣馬街道沿いの大楽寺町信号から2～300m、
式分方丘陵方面に入った山の上にあった。このお寺、かつては、出雲松平家（徳
川家康を祖父とする松平直政）の菩提寺であったと言うから格式が高い。

名前を「不断院」と呼ぶのも珍しい。ちなみに不断とは、「絶え間ない常日頃」
と仏教では解釈するらしい。通常の「普段」と意味はほぼ同じだが、本来は前記
が正しいのだそうだ。このお寺の境内には、珍しい「水琴窟」（すいきんくつ）
がある。水琴窟とは、水道や手水から落ちた水滴が、地中に作りだされた瓶（水
瓶など）に落ちた際に発生する音で、音を空洞内で反響さ
せたもので、「琴の音」に似ていることから水琴窟と呼ば
れているそうだ。編集後記も聞かせてもらったが、きれい
な音、風鈴の様な、オルゴールの様にも聞こえます。写真
のように、竹筒で音を拡大し耳を当てて聞きます。一度お
試しあれ。(S.A)



水琴窟

